

## 主題：三一の神が三部分から成る人に命となる

### メッセージ 3

#### 命の木に対するビジョンと経験

聖書：創 2:9, 16-17. ヨハネ 1:4, 15:1, 4-5. 啓 22:1-2, 14

- I. 聖書における神聖な啓示によれば、二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則、二つの究極的完成があります：
- A. 命の木は、三一の神が人と神との関係の中で、人にとって命であることを表徴します。善悪知識の木は、神の御前での人の墮落において、人にとって死であるサタン、悪魔、邪悪な者を表徴します——創 2:9, 17. 詩 36:9 前半。
  - B. 命の木は、人の供給また享受のために命としての神を尋ね求める人の源です——ヨハネ 1:4, 8:44, 15:1。
  - C. 第一の道は命の道、狭められている道です。それは人が神を尋ね求め、神を得て、神の永遠の命の中で神を供給として享受するためです。第二の道は、死の道、また善悪の道、広い道です。それは人がサタンに従って、彼の子供たちとなるためです——マタイ 7:13-14. 使徒 9:2. I ヨハネ 3:10 前半。
  - D. 第一の原則は命の原則、神に依存する原則です。第二の原則は死の原則であり、また善悪の原則、すなわち、神から独立する原則です——創 4:3-4. エレミヤ 17:5-7. ヨハネ 15:5。
  - E. 二つの究極的完成は二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則の最終結果です：
    - 1. 神の命の道の究極的完成は、命の水の都、すなわち、新エルサレムです——啓 21:2, 9-11. 22:1-2。
    - 2. 死の道、また善悪の道の究極的完成は、火の池です—— 19:20. 20:10, 14-15。
- II. わたしたちが見る必要のあるビジョンとは、聖書が命の木としてのキリストにある神がわたしたちの食物となるという絵をわたしたちに提示しているということです——創2:9. 啓22:14：
- A. 命の木は、三一の神がキリストの中でご自身を命として、食物の形で彼の選びの民の中へと分与することを表徴します——創 2:9。
  - B. 聖書において命の木は常に、キリストが神のすべての豊富の具体化であり、わたしたちの食物のためであることを表徴します——コロサイ 2:9. 創 2:9. 啓 22:2, 14, 19。
  - C. 啓第 2 章 7 節において、命の木は十字架につけられ復活させられたキリストを表徴します。今日キリストは召会の中におられ、その究極的完成は新エルサレムとなります。その中で十字架につけられ復活させられたキリストは命の木となり、永遠にわたって神のすべての贖われた民を養います—— I ペテロ 2:24. ヨハネ 11:25. 啓 22:2, 14。

D. 命の木は宇宙の中心です——創 2:9. 啓 22:1-2 :

1. 神の定められた御旨にしたがって、地は宇宙の中心であり、エデンの園は地の中心であり、命の木はエデンの園の中心です。このゆえに、宇宙は命の木を中心としています。
2. 神と人の両方にとって命の木ほど中心的で、極めて重要なものはありません——創 3:22. 啓 22:14。

E. ヨハネによる福音書は、キリストが命の木の型の成就であることを啓示します。わたしたちはヨハネ第 1 章 4 節と第 15 章 5 節を一緒にするなら、ご自身が命でありまたぶどうの木であるキリストが、命の木であることを認識します。

F. 命の木を享受することは神のすべての贖われた者の永遠の分け前となります。命の木は神が初めに人に対して意図したことを永遠にわたって成就します——創 1:26. 2:9. 啓 22:1-2。

III. キリストにある信者たちは、命の木へ近づく権利を持っています——14節 :

- A. アダムは墮落した人として、神の命から分離され、命の木としての神と接触することが許可されていませんでした——創 3:1-6, 11-13, 22-24。
- B. キリストの贖いを通して、人が命の木（人にとって命としてのキリストにある神ご自身）に触れることができる道は、再び開かれました——ヘブル 10:19-20. 啓 22:14 :
  1. 神の栄光、聖、義の要求をすべて満たしたキリストの贖いを通して、命の木への道は信者たちに再び開かれました——創 3:22-24. ヘブル 10:19-20。
  2. キリストの贖う血の中で自分の衣服を洗う者たちは、永遠において聖なる都の中で、すなわち神のパラダイスの中で、命の木を彼らの永遠の分け前として享受する権利を持ちます——啓 22:14。

IV. 神のエコノミーの中で、わたしたちは命の木を食べる者であり、絶えず新鮮な実を享受するだけではありません。わたしたちはまた、この木の一部、枝々でもあり、命の木であるキリストの中に住んで、その命の汁を享受します——2節. ヨハネ 15:5 :

- A. 聖書は啓示していますが、神が人と持ちたい関係は神と人が一になることです——I コリント 6:17 :
  1. 神が願っているのは、神聖な命と人の命が結合されて一つ命となることです——I ヨハネ 5:11-12. I コリント 1:30. 6:17。
  2. この一は、有機的な結合、命における結合、すなわち接ぎ木された命です——ヨハネ 15:4-5. I コリント 6:17。
- B. 命の木としてのキリストは、わたしたちにとって命としての神の具体化であり、わたしたちは彼と有機的に結合されています——コロサイ 2:9. ヨハネ 15:1, 4-5. I コリント 6:17 :
  1. わたしたちは命の木としてのキリストを食べるだけではありません。わたしたちは彼と結合されています—— 17 節。
  2. 命の木は、神聖な命をわたしたちの中へと分与するためです。わたしたちが枝々としてぶどうの木の中に住むとき、わたしたちは命の分与を命の木から受け、命

の木の一部として生きます——ローマ 8:11。

- V. もしわたしたちが命の木の一部として生きるなら、わたしたちは善悪ではなく命に注意するようになります。そして、わたしたちは正しいか間違っているかにしたがってではなく、命と死にしたがって事柄を識別するようになります——創2:9, 16-17。

II コリント 11:3 :

- A. ヨハネによる福音書が強調している事実は、命の木が善悪知識の木に相対するということと、わたしたちが善悪ではなく命に注意すべきであるということです—— 4:10-14, 20-21, 23-24. 8:3-11. 9:1-3. 11:20-27。
- B. 事柄を識別する最上の方法——識別の秘訣——は、命か死かにしたがって識別することです。わたしたちは命と死によって事柄を識別し区別することを学ばなければなりません。そして、わたしたちの命の供給としてのキリストの享受をわたしたちから奪ういかなる語りかけも拒絶し、わたしたちの命の供給としてのキリストの享受においてわたしたちを常に強める主の真の務めを受け入れなければなりません——ローマ 8:6. II コリント 11:3。